

委員ハ名譽職トス市會ニ於テ市會議員、名譽職參事會員又ハ市
公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ委員長ハ市長又ハ
其ノ委任ヲ受ケタル市參與者ハ助役ヲ以テ之ニ充ツ
常設委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコ
トヲ得

第八十四條 市公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ市
公民權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタルトキ又ハ第十一條第三項ノ
場合ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失フ職ニ就キタルカ爲市公民タル者
ニシテ禁治産者ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ第十一條
第二項若ハ第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審
又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停
止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ
支給スルコトヲ得ス

第八十五條 前數條ニ定ムル者ノ外市ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ市
長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 前數條ニ定ムル者ノ外第六條及第八十二條第三項ノ
市ノ區ニ必要ノ市有給吏員ヲ置キ區長ノ申請ニ依リ市長之ヲ任
免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十七條 市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

第二款 職務權限

市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

市長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ知シ

- 一 市會及市參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其議案ヲ發シ及其
ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタル
トキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法令又ハ市會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、市税
又ハ夫役現品ヲ賦課徴收スル事
- 六 其ノ他法令ニ依リ市長ノ職權ニ屬スル事項

第八十八條 市長ハ議案ヲ市會ニ提出スル前之ヲ市參事會ノ審查
ニ付シ其ノ意見ヲ議案ニ添ヘ市會ニ提出スヘシ

第八十九條 市長ハ市吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコト
ヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

第九十條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ
法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ
又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再
選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止
スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ
市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ
再議ニ付セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ裁決ノ
申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル市長市會又ハ市參事會
ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市會又ハ市參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ市ノ收支ニ關シ不適當
ナリト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮
ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノ
ニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ
市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ

前項ノ裁決ニ不服アル市長市會又ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願
スルコトヲ得

第六項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得
第七項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 市會成立セサルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ
仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ召集スル
ノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參
事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

付府縣參事會ノ議決ヲ請フコトヲ得

市會又ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキ
ハ前項ノ例ニ依ル

市會又ハ市參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前四項ノ例ニ依
ル此ノ場合ニ於ケル市參事會又ハ府縣參事會ノ決定ニ關シテハ
各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項及前三項ノ規定ニ依リ處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之
ヲ市會又ハ市參事會ニ報告スヘシ

第九十二條 市參事會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時
急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會成立セサルトキ又ハ市長ニ於
テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ之ヲ專決シ次回
ノ會議ニ於テ之ヲ市參事會ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ市長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ定
ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十三條 市長其ノ他市吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國府縣其
ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中
別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條 市長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ一部ヲ助役
ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意
ヲ得ルコトヲ要ス

第六條ノ市ノ市長ハ前項ノ例ニ依リ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分

掌セシムルコトヲ得
市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第九十五條 市參與ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ヲ擔任ス

第九十六條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス

助役ハ市長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第九十七條 收入役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及第九十三條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス副收入役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

市長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九十八條 第六條ノ市ノ區長ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ム

副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

ル所ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務及區ノ事務ヲ掌ル

區長其ノ他區所屬ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

區長故障アルトキハ區收入役及區副收入役ニ非サル區所屬ノ吏員中上席者ヨリ順次之ヲ代理ス

第一項及第二項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條 第六條ノ市ノ區收入役ハ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ市及區ノ出納其ノ他ノ會計事務並國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル

區長ハ市長ノ許可ヲ得テ區收入役ノ事務ノ一部ヲ區副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ區ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ區會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

市長ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付前項ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

區副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市長ハ區收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ

區收入役及區副收入役ノ職務權限ニ關シテハ前四項ニ規定スルモノノ外市收入役及市副收入役ニ關スル規定ヲ準用ス

第一百條 名譽職區長ハ市長ノ命ヲ承ケ市長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

名譽職區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキ之ヲ

代理ス

第一百條 委員ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル市ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第一百二條 第八十五條ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第一百三條 第八十六條ノ吏員ハ區長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

區長ハ前項ノ吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第五章 給料及給與

第一百四條 名譽職市參與、市會議員、名譽職參事會員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職市參與、名譽職區長、名譽職區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第一百五條 市長、有給市參與、助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第一百六條 有給吏員ニハ市條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第一百七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ

不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決

ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ市ノ負擔トス

第六章 市ノ財務

第一百九條 第一款 財産營造物及市稅

市ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第一百十條 舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ市會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ市ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第一百十一條 市ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ市規則ヲ設ケルコトヲ得

第一百十二條 市ハ第一百十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同

條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又

ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第百十三條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

市ハ特ニ一個人ニ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第百十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百十六條 市ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

市ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、過料、過意金其ノ他法令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ市税及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第百十七條 市税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ第百六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得

說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ市税ヲ賦課スルコトヲ得

前四項ノ外市税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第百二十二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

市ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ市税ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同シ

數人又ハ市ノ一部ヲ利スル財産ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第百二十三條 市稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第百二十四條 數人又ハ市ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ市ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シテ賦課ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條 夫役又ハ現品ハ直接市税ヲ準率ト爲シ直接市税ヲ

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

第百十八條 三月以上市内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初メニ週リ市税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第百十九條 市内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖市内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、市内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ市内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第百二十條 納稅者ノ市外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ市外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得

市ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對シテ本稅ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞留在市ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サルモノニ對シ市税ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百二十一條 所得稅法第五條ニ掲グル所得ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得

神社寺院祠堂佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所

賦課セサル市ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第百六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第百二十六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ市ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ市長、警察官吏又ハ監督官廳ハ市内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百二十七條 市税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第二百二十八條 市長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ市參事會ノ議決ヲ經ヘシ

市ハ特別ノ事情アル者ニ限リ市税ヲ減免スルコトヲ得

第二百二十九條 使用料手数料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得
財産又ハ營造物ノ使用ニ關シテハ市條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

ルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル
前三項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三百二十二條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ、市ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲メ又ハ天災事變等ノ爲メ必要アル場合ニ限リ市債ヲ起スコトヲ得
市債ヲ起スニ付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ
市長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲メ市參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第三百十條 市税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ市長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第一項及前項ノ規定ハ使用料手数料及加入金ノ徵收並夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
前三項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百十一條 市税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金其ノ他ノ市ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ
夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サヌ又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ
前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收ス

第三百十三條 市長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ市會ノ議決ヲ經ヘシ

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル
豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第三百十四條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條 市費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第三百十六條 市ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫備費ヲ設ケヘシ

豫備費ハ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス
第三百十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第三百十八條 市ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得
第三百十九條 市會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ
收入役ハ市長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

第四百十條 市ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第四百十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ
検査ハ市長之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職參事會員ニ於テ互選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要ス

第四百十二條 市ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市長ニ提出スヘシ市長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ市會ノ認定ニ付スヘシ
決算ハ其ノ認定ニ關スル市會ノ議決ト共ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ
決算ヲ市參事會ノ會議ニ付スル場合ニ於テハ市長市參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第四百十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 市ノ一部ノ事務

第四百十四條 市ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中市ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營

造物ノ屬スル市ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ市ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第四百十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市條例ヲ設定シ區會ヲ設ケテ市會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第四百十六條 區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ
區會議員ノ選舉ニ付テハ市會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ選舉人名簿又ハ選舉者ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ市會ニ於テ之ヲ爲スヘシ
區會議員ノ選舉ニ付テハ前條ノ市條例ヲ以テ選舉人ノ等級ヲ設ケサルコトヲ得
區會ニ關シテハ市會ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百十七條 第四百十四條ノ場合ニ於テ市ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百十八條 第四百十四條ノ市ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 市町村組合

第四百十九條 市町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ設ケルコトヲ得
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意

見テ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ前項ノ市町村組合ヲ設ケルコトヲ得

市町村組合ハ法人トス

第五百十條 市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條 市町村組合ヲ設ケルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第五百十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル市町村、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置、組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第五百十三條 市町村組合ヲ解カムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意

見テ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ解クコトヲ得

第五百十四條 第五百十條第一項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五百十五條 第二項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第五百十五條 第四百十九條第一項第五、條第一項第五百十一條第一項第五百十三條第一項及前條第一項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ市町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ違法又ハ錯誤アリト認ムル市町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五百十六條 市町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル

場合ヲ除クノ外市ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章 市ノ監督

第五百五十七條 市ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第五百五十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル市ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五百五十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第六十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定裁定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依リ異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第六十一條 監督官廳ハ市ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ市ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第六十二條 内務大臣ハ市會ノ解散ヲ命スルコトヲ得
市會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第六十三條 市ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

市長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル市又ハ市長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十四條 市長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ市費ヲ以テ辨償セシムヘシ
臨時代理者ハ有給ノ市吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳

之ヲ定ム

第六十五條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

- 一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更ヲ加フル事

第六十六條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

- 一 市債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事但シ第三百三十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

- 三 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 四 使用料手數料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第六十七條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受ケヘシ

- 一 基本財産ノ管理及處分ニ關スル事
- 二 特別基本財産及積立金穀等ノ管理及處分ニ關スル事
- 三 第一百十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事
- 四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
- 五 不動産ノ管理及處分ニ關スル事
- 六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 七 第二百二十二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ

市ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

第八十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事

第九十五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第六十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第六十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限リ許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第七十條 府縣知事ハ市長、市參事、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ市吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ市長、市參事、助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經市長ニ付テハ勅令ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒
審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參
事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設ケルノ限ニ在ラ
ズ

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ
訴願スルコトヲ得但シ市長ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

府縣知事ハ市長、市參與、助役、收入役、副收入役及第六條又
ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停
職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給
料ヲ支給スルコトヲ得ス

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市町村ノ公職ニ選舉セラ
レ又ハ任命セラレルコトヲ得ス

第七十一條 市吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引
繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過
料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得

第十章 雜 則

第七十二條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシ
テ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀
ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定ス
ヘシ

第七十三條 本法ニ規定スルモノノ外第六條ノ市ノ有給吏員ノ

組織任用分限及其ノ區ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定
ム

第七十四條 第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及
大藏大臣之ヲ定ム

第七十六條 市又ハ市町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタ
ル場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノ
ノ外命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 本法ハ町村制第五十七條ノ地域ニ之ヲ施行セス

附 則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十九條 本法施行ノ際現ニ市會議員又ハ區會議員ノ職ニ在
ル者ハ從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ
失フ

本法施行ノ際現ニ市長助役又ハ收入役ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規
定ニ依リ任期滿了ノ日ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第八十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ
付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス
但シ復権ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看
做ス

第八十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●市制及町村制施行期日

明治四十四年九月二十一日
勅令第二百三十八號

朕市制及町村制施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
市制及町村制ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市制第六條ノ市ノ指定ニ關
スル件

明治四十四年九月二十一日
勅令第二百三十九號

朕市制第六條ノ市ノ指定ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
市制第六條ノ規定ニ依リ市ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 東京市
- 京都市
- 大阪市

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市制第八十二條第三項ノ市
ノ區ニ關スル件

明治四十四年九月二十一日
勅令第二百四十號

附 錄

組織任用分限及其ノ區ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定
ム

第七十四條 第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及
大藏大臣之ヲ定ム

第七十六條 市又ハ市町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタ
ル場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノ
ノ外命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 本法ハ町村制第五十七條ノ地域ニ之ヲ施行セス

附 則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十九條 本法施行ノ際現ニ市會議員又ハ區會議員ノ職ニ在
ル者ハ從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ
失フ

本法施行ノ際現ニ市長助役又ハ收入役ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規
定ニ依リ任期滿了ノ日ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第八十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ
付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス
但シ復権ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看
做ス

第八十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

朕市制第八十二條第三項ノ市ノ區ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

第一條 市制第八十二條第三項ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定シタ
ル市ノ區ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 新ニ區ヲ劃シ又ハ其ノ區域ヲ變更セムトスルトキハ市ハ
内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 區ノ名稱ヲ變更シ又ハ區役所ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更
セムトスルトキハ市ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 區ヲ以テ選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ市制第二十一條
第二項第三項第七項第十項第十一項第二十三條第二項第四項第
三十一條第二項及第三十二條第一項中市制第六條ノ市ノ區長及
區役所ニ關スル規定ハ區長及區役所ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市税及町村税ノ賦課ニ關ス
ル件

明治四十四年九月二十一日
勅令第二百四十一號

朕市税及町村税ノ賦課ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 市町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其
ノ營業又ハ收入ニ對スル本税ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ附加税

二九

ヲ賦課セムトスルトキハ市町村長ハ關係市長ノ區長ヲ含ム
ハ町村長ヘキモヲ含ム
ト協議ノ上其ノ本税額ノ歩合ヲ定ム
ヘシ

前項ノ協議調ハサルトキハ其ノ郡内ニ止マルモノハ郡長之ヲ定
メ其ノ郡下之ニ依リ
之ヲ定メ其ノ數府縣北海道ヲ含ム
ニ涉ルモノハ内務大臣及大藏
大臣之ヲ定ムヘシ

第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生スルコトナキ營業所アルト
キハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト認メ前二項ノ規定ニ依
リ本税額ノ歩合ヲ定ムヘシ

府縣ニ於テ數府縣ニ涉ル營業ニ對シ營業税附加税賦課ノ歩合ヲ
定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本税額ヲ以テ其ノ府縣
ニ於ケル本税額ト看做ス

第二條 鑛區砂鑛區域ヲ含ム
カ市町村ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛
區税砂鑛區税ノ附加税ヲ賦課セムトスルトキハ鑛區ノ屬スル地
表ノ面積ニ依リ其ノ本税額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

市町村ノ内外ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其ノ他ノ營業所ヲ設ケ
タル場合ニ於テ鑛産税ノ附加税ヲ賦課セムトスルトキハ前條ノ
例ニ依ル鑛區カ營業所所在ノ市町村ノ内外ニ涉ル場合亦同シ

第三條 住所滞在市町村ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物
件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サルモノニ對

シ市町村税ヲ賦課セムトスルトキハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部
ニノミ賦課スヘシ
前項ノ住所又ハ滞在在ノ時ヲ異ニシタルトキハ納税義務ノ發生
シタル翌月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課ス
ヘシ但シ賦課後納税義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦
課額ハ之ヲ變更セス其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル市町村ニ
於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スヘシ

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十四年度
ノ課税ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

市税及町村税ノ徴收ニ關ス

ル件 明治四十四年九月二十一日
勅令第二百四十二號

朕市税及町村税ノ徴收ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
市税及町村税徴收ニ關シテハ國稅徴收法第四條ノ一及第四條ノ三
乃至第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市制町村制中直接税、間接税ノ種類ニ關スル件

明治四十五年五月二十九日
内務省告示第四十三號

市制第七十五條町村制第五十五條直接税及間接税ノ種類ハ左
ノ諸税ヲ以テ直接税トシ其ノ他ハ間接税トス但シ府縣市町村ニ於
テ特ニ徴收スルモノハ府縣知事ノ稟申ヲ以テ之ヲ定メ其ノ直接税
ト爲スヘキモノハ府縣知事ヲシテ告示セシム

國 税

地租 所得税(無記名債券ノ所得ニ係ル所得税ヲ除ク)營業税
鑛業税 砂鑛區税 賣藥營業税

府 縣 税

戸數割 家屋税 營業税 雜種税

市 町 村 税

直接國稅府縣稅附加稅 段別割

市制町村制ノ施行ニ關スル

件 明治四十四年九月二十一日
勅令第二百四十三號

朕市制町村制ノ施行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市制町村制施行前舊市制町村制ニ依リ爲シタル手續其ノ

他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ市制町村
制ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第二條 町村ノ境界ニ關スル爭論ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタ
ルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡
參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依リ訴
願期間内ニ府縣參事會ノ裁定ヲ請フコトヲ得

郡參事會ノ裁決ニ不服アルカ爲府縣參事會ニ爲シタル訴願ハ之
ヲ其ノ裁定ヲ請ヒタルモノト看做ス
市町村ノ境界ニ關スル爭論ニ付府縣參事會ノ爲シタル裁決ハ之
ヲ裁定ト看做ス

第三條 町村名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務
ヲ實際ニ執行セサルカ爲受ケタル町村公民權停止及町村費増課
ノ處分ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之
ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於
テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依リ訴願期間内ニ
府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ニ於テ爲シタル市町村公民權停止及市
町村費増課ノ處分ニ對スル訴願ノ期間ニ付テハ前項ノ規定ヲ準
用ス

第四條 市町村營造物ニ關スル從前ノ市町村規則中市町村條例ヲ
以テ規定スヘキ事項ニ關スル規定ハ市町村條例ト同一ノ效力ヲ
有ス

第五條 市會議員ノ定數市制第十三條ノ議員ノ定數ニ滿タサルニ依リ其ノ不足ヲ補フカ爲選舉シタル議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第六條 市町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設ケタル町村組合會議員ノ補闕又ハ増員ニ付從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期前ニ於テ其ノ選舉ヲ行ヒタルトキハ其ノ補闕議員又ハ増員議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ當選ヲ辭シ又ハ選舉若ハ當選無效ト爲リタルカ爲選舉セラレタル議員ニ付亦同シ

第七條 市制町村制施行前ノ選舉ニ關スル選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル訴願ニシテ市制町村制施行前市町村長ニ於テ受理シタルモノ又ハ市町村會ニ付議シタルモノハ之ヲ市町村會ノ決定ニ付シタルモノト看做ス其ノ決定及市町村會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ異議ノ決定ト看做シ其ノ市制町村制施行前ニ爲シタル裁決ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

市制町村制施行前ニ於ケル選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第十二條 裁決ニ不服アル者ノ提起シタル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ

規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

第八條 市制町村制施行前家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲公判ニ付セラレタル者ノ選舉權及被選舉權ノ有無ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九條 選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル府縣知事ノ異議ニシテ市制施行前府縣參事會ニ付議シタルモノハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付シタルモノト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ決定ト看做ス

選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル郡長ノ異議ニシテ町村制施行前郡參事會ニ付議シタルモノアルトキハ郡長ニ於テ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處分スヘシ其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

第十條 市制施行ノ際現ニ市會議長及其ノ代理者タル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ル

前項ノ議長代理者ハ之ヲ副議長ト看做ス

第十一條 從前ノ規定ニ依ル市町村助役ノ選舉及收入役ノ選任ニ付テハ市町村長ノ推薦ニ依リ市町村會ニ於テ定メタルモノト看做ス

第十二條 町村長ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ超エ又ハ法令ニ背クト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ

於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ニ於テ町村會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ郡長ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

前項ノ事件ニ付町村制施行前府縣參事會ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市參事會ニ於テ市會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ府縣參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ハ之ヲ市長ノ申請ト看做ス市制施行前其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 市制施行前市ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料又ハ名譽職員ノ實費償若ハ報酬ノ給與ニ關シ府縣參事會ニ於テ受理シタル異議ハ之ヲ訴願ト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル異議ノ裁決ハ之ヲ訴願ノ裁決ト看做ス

町村ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料、名譽職員ノ實費償若ハ報酬又ハ町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議ノ申立ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議、訴願及訴訟ニ付テハ給料ニ關スル規定ヲ準用ス

市制町村制施行前前三項ノ給與ニ關シ爲シタル處分ニ對スル異議ノ申立期間ハ市制町村制施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 從前ノ使用料、手数料及特別税ニシテ市町村條例ニ依ラサルモノハ之ヲ市町村條例ヲ以テ規定シタルモノト看做ス使用料、手数料及特別税ニ關シ從前市町村條例ニ規定シタル料ハ之ヲ過料ト看做ス但シ市制町村制施行前科料ノ處分ヲ受ケタル者ノ出訴ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第十五條 市制町村制施行前市町村税ノ賦課又ハ市町村ノ營造物、市町村有財産若ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ關シ市參事會又ハ町村長ニ申立テタル訴願ハ之ヲ市長又ハ町村長ニ爲シタル異議ノ申立ト看做シ其ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ事件ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做シ其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ノ營造物、市町村有財産又ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ付爲シタル處分ニ對スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第十六條 手数料ノ徵收及市町村税ノ滯納處分ニ關スル訴願ニシ

テ郡長又ハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ内務大臣ノ受理シタルモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

市制町村制施行前ノ手數料ノ徵收ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ郡長ニ於テ爲シタル訴願ノ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ府縣知事ニ於テ爲シタル裁決ハ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ト看做ス

市制町村制施行前ノ市町村稅ノ滯納處分又ハ町村稅ノ滯納處分ニ關スル郡長ノ裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス
第十七條 市町村ノ一部ニ屬スル財產又ハ營造物ニ關シ區會又ハ區總會ヲ設ケルカ爲市町村條例ノ設定ニ付府縣參事會又ハ郡參事會ヨリ内務大臣ニ提出シタル申請ハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ノ申請ト看做ス

第十八條 町村組合ヲ解カムトスルノ申請ニシテ郡長ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス
第十九條 舊市制第十六條第一項ノ府縣參事會ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

舊町村制第二十條第一項ノ郡參事會ノ處分又ハ裁決ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ

不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス
前項郡參事會ノ處分又ハ裁決ハ郡長ニ於テ爲シタル處分ト看做シ之ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

舊市制第十六條第一項又ハ舊町村制第二十條第一項ノ郡長又ハ府縣知事ノ處分又ハ裁決ニ不服アルカ爲提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル
舊市制第十六條第五項又ハ舊町村制第二十條第五項ノ執行ノ停止ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十條 舊町村制第二十條ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做シ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ府縣知事ノ裁決ト看做ス
前項郡長ノ處分ニ不服アル者ノ提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十一條 市町村會ノ議決ニ付許可ヲ要スル事件中府縣參事會又ハ郡參事會ニ申請シタルモノニシテ府縣知事又ハ郡長ノ職權ト爲リタルモノハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ニ申請シタルモノト看做ス

第二十二條 市制町村制施行前ニ爲シタル市町村吏員ノ解職ニ付テハ總テ從前ノ規定ニ依ル
第二十三條 第三條第七條第四項第十二條第一項第十三條第二項

第十五條第一項若ハ第二項又ハ第十六條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ府縣參事會ニ提起シタル訴願ハ之ヲ市制又ハ町村制ニ依リタルモノト看做ス
第二十四條 市制町村制施行前ノ處分決定裁定又ハ裁決ニ對スル行政訴訟ノ提起期間ハ從前ノ規定ニ依ル

附 則
本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市制第六條ノ市ノ區ニ關スル件

明治四十四年九月二十三日 勅令第二百四十四號

朕市制第六條ノ市ノ區ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市制第六條ノ市ノ區ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市條例ヲ設定シ新ニ區會ヲ設ケルコトヲ得

第三條 區内ニ住所ヲ有スル市公民ニシテ其ノ區ニ於テ直接市稅ヲ納ムル者ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ市制第十一條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國臣民ニシテ區ニ於テ直接市稅ヲ納ムル者其ノ額市公民ノ其ノ區ニ於テ最多ク納稅スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトキハ前項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但シ六年ノ懲役又ハ禁錮以

上ノ刑ニ處セラレタル者及市制第十一條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス
法人ニ關シテモ亦前項ノ例ニ依ル

前二項ノ直接市稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ
第四條 選舉人ハ分チテ三級トス

選舉人中區ニ於テ納ムル直接市稅額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ其ノ區ニ於テ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ三分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ三分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス

一級選舉人ヲ除クノ外其ノ區ニ於テ納ムル直接市稅額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ其ノ區ニ於テ納ムル直接市稅ノ總額中一級選舉人ノ納ムル額ヲ除キ其ノ殘額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ三級トス但シ二級選舉人ノ場合ニハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ區内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テ年齢ニ依リ難キトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ每級各別ニ議員定數ノ三分ノ一ヲ選舉ス
被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セラルルコトヲ得

第二項乃至第四項ノ直接市税ノ納額ニ關シテハ前條第四項ノ規定ヲ適用ス

第五條 第三條第一項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ市ノ有給吏員但シ他ノ區所屬ノ市有給吏員ハ此ノ限ニ在ラス

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

市又ハ區ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員 重役及支配人ハ其ノ區ニ於テ被選舉權ヲ有セス

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ區會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ年長者ヲ當選者トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其

ノ職ヲ失フ

區長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ區會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第六條 區會議員ハ市ノ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ區長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル等級ニ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第七條 第三條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者

ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ年齡二十五年以上ノ男子ニ非サル者、禁治產者及準禁治產者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ年齡二十五年以上ノ男子ニ限ル

市制第九條第一項但書ニ當ル者、同第十條第二項ノ規定ニ依ル公民權停止中ノ者及同第十一條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ

同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長又ハ分會長ニ示スヘシ

第八條 選舉ヲ終リタルトキハ區長ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ市長ヲ經テ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

市制第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ區長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ市長ヲ經テ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第九條 區會ノ組織及區會議員ノ選舉ニ關シテハ前數條ニ定ムルモノノ外市制第十三條第十七條第二十條乃至第二十六條第二十八條乃至第三十三條第三十五條乃至第三十九條ノ規定ヲ準用ス但シ區會議員ノ定數ニ付テハ市ハ區會ノ意見ヲ徵シ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

第十條 區會ノ職務權限ニ關シテハ市會ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス

區長ト區會トノ關係ニ付テハ市長ト市會トノ關係ニ關スル規定及市制第九十二條ノ規定ヲ準用ス

第十一條 區會ヲ設ケサル區ニ於テハ區會ノ職務ハ市會之ヲ行フ

第十二條 市ハ區會ノ意見ヲ徵シ區ノ營造物ニ關シ市條例又ハ市規則ヲ設ケルコトヲ得

市制第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

區ハ前二項ノ市條例ノ定ムル所ニ依リ區ノ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ過料ヲ科スルコトヲ得

第十三條 區ハ其ノ財産及營造物ニ關シ必要ナル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

第十五條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條 前數條ニ定ムルモノノ外區ニ關シテハ市制第一百四條第一百五條第三百十條第二項乃至第六項第三百一十一條及第三百十三條乃至第四百三十三條ノ規定ヲ準用ス但シ第三百三十條第三項ノ市參事會ハ區會、第四百一十一條第二項ノ名譽職參事會員ハ區會議員トス

前項ノ規定ニ依リ市制第三百一十一條第一項ヲ準用スル場合ニ於テハ市ハ區會ノ意見ヲ徵シ市條例ヲ定メ區ヲシテ手数料ヲ徵收セシムルコトヲ得

市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件

明治四十四年九月二十三日 勅令第二百四十五號

朕市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ但シ避ケヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラサリシトキハ市町村ハ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

第二條 收入役、副収入役若ハ收入役代理者又ハ收入役ノ事務ヲ兼掌スル町村長若ハ助役ハ市制第三百三十九條第二項町村制第十九條第二項ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償セシムヘシ區收入役、區副収入役又ハ區收入役代理者ニ付亦同シ

第三條 市町村吏員其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ

第四條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市町村ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ訴願及訴訟ノ提起期間ハ市制第六十條町村制第四百十條ノ例ニ依ル

者又ハ職務管掌ノ官吏ハ歳入出豫算カ市町村會ノ議決ヲ經テ成立スルニ至ル迄ノ間必要ナル收支ニ付豫算ヲ設ケ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村其ノ事務ヲ承繼ス其ノ地域ニ依リ難キトキハ府縣知事ハ事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スヘキ市町村ヲ指定ス

前項ノ場合ニ於テ消滅シタル市町村ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り其ノ市町村長タリシ者又ハ其ノ職務ヲ行ヒタリシ者之ヲ決算ス

前項ノ決算ハ事務ヲ承繼シタル各市町村ノ市町村長之ヲ市町村會ノ認定ニ付スヘシ

市制第四百二十二條第三項町村制第二百二十二條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條 市町村ノ境界變更アリタル爲事務ノ分割ヲ要スルトキハ其ノ事務ノ承繼ニ付テハ府縣知事之ヲ定ム

第四條 市町村組合、町村組合又ハ市制第六條ノ市ノ區ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス但シ市町村組合又ハ町村組合ニ付組合規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

第五條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ市制第三百三十一條町村制第一百一條ノ例ニ依ル

第六條 市町村吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ市町村ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第七條 本令中市町村ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ノ區並市制第四百四十四條ノ市ノ一部及町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●市町村、市町村組合及町村組合ノ廢置分合等ノ場合ニ於ケル事務ニ關スル件

明治四十四年九月二十九日 勅令第二百四十八號

朕市町村、市町村組合及町村組合ノ廢置分合等ノ場合ニ於ケル事務ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ市町村長ノ臨時代理

●市制町村制ニ依ル懲戒審査會及鑑定人ノ費用負擔ニ關スル件

明治四十四年十二月二十七日 勅令第二百九十三號

朕市制町村制ニ依ル懲戒審査會及鑑定人ノ費用負擔ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市制第七十條町村制第五十條ノ懲戒審査會會員中府縣名譽職參事會員ヨリ互選シタル者ニハ旅費ヲ支給ス其ノ額及支給方法ハ府縣知事之ヲ定ム

前項ノ旅費及懲戒審査會ノ費用ハ府縣ノ負擔トス

第二條 市制第二百六十六條町村制第六條ノ鑑定人ニハ旅費及手當ヲ支給ス其ノ額及支給方法ハ府縣知事之ヲ定ム

附 則

前項ノ旅費手當ハ府縣ノ負擔トス

第三條 前條ノ規定ハ水利組合法第五十條ノ鑑定人ニ之ヲ準用ス

●市制第六條ノ市ノ助役ノ定數

明治四十四年九月二十二日 內務省令第十三號

東京市 三人
 京都市 二人
 大阪市 二人

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村財務規程

明治四十四年九月二十二日
内務省令第十五號

市町村財務規程左ノ通定ム

- 第一條 市町村稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシテ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歳出ハ豫算ニ編入スヘシ
- 第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲入ニ充ツルコトヲ得ス
- 第三條 歲入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル
 - 一 市町村條例又ハ豫メ市町村會ノ議決ヲ以テ納期ヲ定メタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
 - 二 定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲テ納期ヲ定メタル收入又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
 - 三 隨時ノ收入ニシテ納額告知書等ヲ發セサルモノハ領收ヲシタル日ノ屬スル年度

- 第四條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル
 - 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
 - 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
 - 三 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
 - 四 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第五條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ但シ市町村條例ノ規定又ハ市町村會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セス之カ支出ヲ爲スコトヲ得
- 第六條 市町村稅ハ徵稅令書ニ依リ使用料、手数料及物件ノ賃料ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第七條 前項以外ノ收入ハ納付書ニ依リ收入ス
- 第七條 支出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 第八條 左ノ經費ハ現金前渡ヲ爲スコトヲ得
 - 一 市町村債ノ元利支拂
 - 二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費

三 市町村外遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ必要トスル經費

前項ノ現金前渡ハ市町村吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第九條 左ノ經費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

一 旅 費

二 訴訟費用

第十條 官報其ノ他前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ限リ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十一條 前三條ニ掲グルモノノ外必要アルトキハ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ現金前渡、概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十二條 歲入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ

タル歲入ヨリ支拂フヘシ

歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、現金前渡、前金拂、概算拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第十三條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歳出ト爲スヘシ前條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第十四條 繰越費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄繰越スル越使用スルコトヲ得

第十五條 歲入歳出豫算ハ必要アルトキハ經常臨時ノ二部ニ別ツ

ヘシ

歲入歳出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スヘシ

第十六條 歲入歳出豫算ニハ豫算説明ヲ付スヘシ

第十七條 特別會計ニ屬スル歲入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ

第十八條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第二十條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第二十一條 會計年度經過後ニ至リ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツルニ足ラサルトキハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ翌年度ノ歲入ヲ繰上ケ之ヲ充用スルコトヲ得

第二十二條 市ハ其ノ歲入歳出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ法ニ依ルコトヲ得

第二十三條 市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲市町村金庫ヲ置クコトヲ得

第二十四條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ市町村會之ヲ定ム

第二十五條 金庫ハ收入役ノ通知アルニ非サレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付市町村ニ對シテ責任ヲ有ス

第二十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ノ保管スル現金ハ市町村ノ歲入歳出ニ屬スルモノニ限リ支出ニ妨ケナキ限度ニ於テ市町村

ハ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ市町村ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ市町村ニ納付スヘシ

第二十八條 市町村ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ヨリ擔保ヲ徵スヘシ其ノ種類、價格及程度ニ關シテハ第一次監督官廳ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

第二十九條 收入役ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金帳簿ヲ檢査スヘシ
第三十條 本令ニ規定スルモノノ外市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村吏員服務紀律

明治四十四年九月二十二日
內務省令第十六號

市町村吏員服務紀律左ノ通定ム

第一條 市町村吏員ハ忠實勤勉ヲ旨トシ法令ニ從ヒ其ノ職務ニ盡スヘシ

第二條 市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉耻ヲ破リ其ノ他品位ヲ傷フノ所爲アルヘカラス

市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス職權ヲ濫用セス懇切公平ナルコトヲ務ムヘシ

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村吏員事務引繼ニ關スル件

明治四十四年九月二十二日
內務省令第十七號

市町村吏員事務引繼ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 市町村長更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ助役ニ引繼クヘシ此ノ場合ニ於テハ助役ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼クヘシ

前項引繼ノ場合ニハ書類帳簿及財産ノ目錄ヲ調製シ處分未濟者ハ未著手又ハ將來企畫スヘキ見込ノ事項ニ付テハ其ノ順序方法及意見ヲ記載スルコトヲ要ス

第二條 助役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ市町村長ニ引繼クヘシ前條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條 收入役更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ副收入役又ハ收入役代理人ニ引繼ク

第三條 市町村吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ洩洩シ又ハ未發ノ事件若ハ文書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ス其ノ職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ

裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受ケルトキハ指揮監督者ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得事實參考ノ爲訊問ヲ受ケタル者ニ付テモ亦同シ
前項ノ場合ニ於テ市町村吏員ノ掌ル國府縣其ノ他公共團體ノ事務ニ付テハ國府縣其ノ他公共團體ノ代表者ノ許可又ハ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第四條 市町村吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

市町村吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受ケルコトヲ得ス

第五條 左ニ掲ケル者ト直接ト關係ノ職務ニ在ル市町村吏員ハ其ノ者又ハ其ノ者ノ爲ニスル者ノ饜燕ヲ受ケルコトヲ得ス
一 市町村ニ對シ工事ノ請負又ハ物件勞力供給ノ契約ヲ爲ス者
二 市町村ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者
三 市町村ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受ケル起業者
四 市町村ト土地物件ノ賣買贈與貸借又ハ交換ノ契約ヲ爲ス者
五 其ノ他市町村ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ムトスル者

ヘシ此ノ場合ニ於テハ副收入役又ハ收入役代理人ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼クヘシ

前項引繼ノ場合ニハ現金書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ各目録ヲ調製シ仍現金ニ付テハ各帳簿ニ對照シタル明細書ヲ添附シ帳簿ニ付テハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受ケル者連署スヘシ

第四條 副收入役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ收入役ニ引繼クヘシ前條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第一條、第三條又ハ前條ノ規定ハ市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ區收入役ノ更迭又ハ分掌事務アル區副收入役ノ退職ノ場合ニ第二條ノ規定ハ分掌事務アル町村區長ノ退職ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 市町村ノ廢置分合ニ依リ新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ前市町村ノ吏員ノ擔任スル事務ハ之ヲ市町村長、收入役又ハ市町村長ノ臨時代理人若ハ職務管掌ノ官吏ニ引繼クヘシ第一條乃至第四條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス市町村ノ境界變更アリタルトキ亦同シ

第七條 前六條ノ場合ニ於テ引繼ヲ拒ミタル者ニ對シテハ市ニ在リテハ府縣知事町村ニ在リテハ郡長ハ二十五圓以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得其ノ故ナク引繼ヲ遷延シタル爲市町村長ニ於テ期日ヲ指定シテ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル者ニ付亦同シ

第八條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村吏員事務引繼ノ際調製スヘキ書類等ノ目錄ニ關スル件

大正元年十一月十六日府縣(沖繩縣ヲ除ク)内務省訓令第十九號

明治四十四年九月内務省令第十七號ノ規定ニ依リ市町村吏員事務引繼ノ際調製スヘキ書類帳簿物件又ハ財産ノ目錄ハ現ニ設備セル目錄又ハ臺帳ニ依リテ引繼チ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ以テ充用シ其ノ旨引繼書ニ記載セシムヘシ

市制第六十九條及町村制第四百四十九條ニ依ル命令ノ件

大正元年八月二十九日勅令第十八號

朕市制第六十九條及町村制第四百四十九條ニ依ル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲クルモノハ府縣知事之ヲ許可スヘシ

一 公告式、學務委員、基本財産、特別基本財産、積立金穀、

造林、傳染病豫防救治ニ關スル一時給與金、有給吏員ノ年功加俸、退職料、退職給與金、死亡給與金、弔祭料、療治料、遺族扶助料、町村助役ノ定數増加、町村長町村助役ノ有給及町村副収入役ノ設置ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スル事

二 手數料及墓地、火葬場、屠場、家畜市場、公園、病院、溫泉、土地、用水其ノ他之ニ類スルモノノ使用料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スル事

三 町村ノ區會及區總會ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スル事

四 條例ヲ廢止スル事

五 教育費ニ充ツル爲府縣郡ノ基金又ハ教育資金ヨリ借入ルル市町村債ニ關スル事

六 小學校ノ建築増築改築ニ關スル費用、傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工事費ニ充ツル爲借入ルル償還期限三年以内ノ市町村債ニ關スル事

七 借入ノ翌年度ニ於テ償還スル市町村債ニ關スル事但シ借入金ヲ以テ償還スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

八 村ヲ町ト爲シ又ハ町ヲ村ト爲ス事

第二條 市町村行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲クルモノハ其ノ許可ヲ受ケルコトヲ要セス

一 市町村債ノ借入額ヲ減少シ利息ノ定率ヲ低減シ又ハ之カ爲償還年限ヲ短縮スル事

二 許可ヲ受ケタル市町村債ニ關スル條例又ハ議決ノ定ムル所

明治三十三年勅令第二百二十三號ハ之ヲ廢止ス

市町村歲入出豫算調書式

(大正元年十二月七日) 内務省令第十八號

市町村歲入出豫算ハ第一號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

特別會計ニ屬スル歲入出豫算ハ前項ノ例ニ依ル

繼續費ノ年期及支出方法ハ第二號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

市制第六條ノ市ノ區、市町村ノ一部、市町村組合又ハ町村組合ノ歲入出豫算並繼續費ノ年期及支出方法ハ前各項ノ例ニ依ル

附 則

本令ハ大正二年度分ヨリ之ヲ施行ス

第一號 大正何年度某府某市縣某町(村) 歲入出豫算

一金	又ハ	歲入	歲入豫算高
一金	又ハ	歲出	經常部豫算高
一金	又ハ	合計金	臨時部豫算高
一金	又ハ	歲出	歲出豫算高
一金	又ハ	經常部豫算高	經常部豫算高
一金	又ハ	臨時部豫算高	經常部豫算高

本令ハ大正元年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

此ノ限ニ在ラス

ノ意見ヲ異ニスルトキ又ハ財産ニ變更ヲ及ホスヘキ場合ハ

ニ關スル事但シ郡市ノ境界ニ關スルトキ、關係アル町村會

ノ意見ヲ異ニスルトキ又ハ財産ニ變更ヲ及ホスヘキ場合ハ

モノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

漁業稅採藻稅ニシテ從來ノ慣例ヲ改正シ又ハ新ニ課稅スル

及第二條ニ掲ケタル市ニ於テ明治十三年第十七號布告第一條

ノ分賦ヲ受ケタル市ニ於テ明治十三年第十七號布告第一條

七 明治三十二年勅令第三百十六號第二條ノ規定ニ依リ府縣費

變更スル事

六 二年度ヲ超エサル繼續費ヲ定メ又ハ其ノ年期中ニ於テ之ヲ

五 特定ノ目的ノ爲ニスル積立金穀ヲ其目的ノ爲ニ處分スル事

四 基本財産、特別基本財産若ハ積立金ノ現金ヲ郵便貯金ト爲

三 特別稅、使用料、手數料、加入金、町村ノ常設委員、町村

二 基キ既定ノ償還年限ヲ延長セシテ低利借替ヲ爲シ又ハ

一 公告式、學務委員、基本財産、特別基本財産、積立金穀、

三	所得稅附加稅	一何何
四	礦業稅附加稅	一何何
五	砂鑛區稅附加稅	一何何
六	賣藥營業稅附加稅	一何何
七	取引所稅附加稅	一何何
八	戶數割 <small>(又八家屋稅)</small> 附加稅	一何何
九	府縣稅營業稅附加稅	一何何
十	府縣稅雜種稅附加稅	一何何
十一	特別稅段別割	一何何

經常部	歲出	歲入	合計	一何何
		二現品		一何何
		一夫役		一何何
		十六夫役及現品		一何何
		十五特別稅何何		一何何
		十四特別稅不動產移轉稅		一何何
		十三特別稅所得稅		一何何
		十二特別稅戶別割		一何何

豫算										科目		款項		目		算		種		目		豫算		說明									
一 役 費										二 報 酬		三 給 料		四 需 用 費		五 修 繕 費		豫算額		種		目		本年		前年		增減		附記			

二 會 議 費										三 土 木 費		四 需 用 費		三 雜 給		二 給 料		一 費 用 辨 償		二 何 何													

七	某費本年度支出額	一	某費ノ内某費本年 度支出額	二	何	何	一	何	何	二	何	何
		一	何	二	何	何	一	何	何	二	何	何
臨	時	部	計	合	計	計	計	計	計	計	計	計
歲	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出

大正何年何月何日提出

某府某市 某縣某郡某町(村)長 氏 名

記載例

一 歳入ヲ經常臨時ノ二部ニ分ツノ必要アルトキハ其ノ性質ニ從ヒ之方區分チ爲スヘシ例ヘハ國庫補助金、府縣補助金、郡補助金、寄附金、繰入金、財産賣拂代及市町村債ノ如キハ之ヲ臨時部ニ編入スヘシ雜收入中臨時事業ニ伴フ不用品賣拂代ノ如キ亦臨時部ニ屬スルモノトス仍經常臨時ノ二部ニハ各計

ヲ設ケ更ニ歳入合計ヲ掲載スヘシ
 二 歳出ヲ經常臨時ノ二部ニ分ツノ必要ナキトキハ各款ヲ通シテ歳出合計ヲ掲載スヘシ
 三 豫算金額ハ圓位ニ止ムルモ妨ケナシ
 四 増減欄ノ減ハ朱書ト爲シ又ハ△印ヲ付スヘシ
 五 豫算説明ノ部分ハ別ニ調製スルモ妨ケナシ
 六 歳入
 イ 基本財産ハ一般ト特別トチ區分シ且特別基本財産ハ其ノ種

類ノ異ナル毎ニ別項ト爲スヘシ例ヘハ「小學校」(又ハ某)「本財産」(「公園」(又ハ某)「基本財産」)「罹災救助基本財産」等ノ如シ

口 豫算説明欄ニハ豫算ノ計算ノ基ヲ所チ明ナラシムルチ旨トシ種目ノ分別ニ就テハ特ニ注意スヘシ例ヘハ財産ヨリ生スル收入(款)基本財産收入(項)ノ説明ニ就テハ種目ハ「小作米」「賃地料」「木竹其他賣拂代」「貸家料」「貸付金穀利子」「預金利子」「公債利子」「社債利子」「株券配當金」等ノ類トシ其ノ附記欄ニハ「小作米」ニ就テハ土地ノ所在地、地目、段別、一段歩當、數量、單價及金額又「賃地料」ニ就テハ土地ノ所在地、地目、段別又ハ坪數及金額ヲ掲載シ其ノ地上權者ヨリ取得スル地代、永小作權者ヨリ取得スル小作料、土地ノ賃借人ヨリ取得スル借賃ノ類ニシテ現米ナルトキハ總テ之ヲ「小作米」ニ現金ナルトキハ總テ之ヲ「賃地料」ニ算入スヘシ又「木竹其他賣拂代」トハ立木竹ノ賣拂代ハ勿論落葉、落枝、柴草、土石、樹根、草根、切芝ノ採取又ハ採掘等ノ種別ニ從ヒ各數量、單價及金額ヲ掲載スヘシ

ハ 使用料(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ市制町村制ニ所謂使用料例ヘハ「公園」(又ハ某)「使用料」(「屠場使用料」)「水道水料」ノ如キハ勿論他ノ法令ニ依ル使用料例ヘハ「小學校」(又ハ某)「授業料」「幼稚園」(又ハ某)「保育料」「圖書閱覽料」

附 錄

ノ類ヲモ掲記シ其ノ各附記欄ニハ件數、金額ヲ掲載スヘシ
 二 手数料(項)ニ對スル説明種目ノ欄モ亦市制町村制ニ所謂手数料例ヘハ「證明手数料」「屠畜手数料」「督促手数料」ノ如キハ勿論他ノ法令ニ依ル手数料例ヘハ「戶籍手数料」「海員手数料」ノ類ヲモ掲記シ其ノ各附記欄ニハ件數、金額ヲ掲載スヘシ
 七 雜收入ノ項ハ小學校(又ハ某)「雜入、繰替金戻入 加入金等ノ類トシ其ノ説明種目例ヘハ「小學校」(又ハ某)「雜入」ニ對シテハ「物件賣拂代」「不用品賣拂代」ノ類又「繰替金戻入」ニ對シテハ「召集旅費繰替金戻入」「行旅病人及死亡人取扱費繰替金戻入」「精神病者監護費繰替金戻入」ノ類トス仍雜收入ニ就テハ他ノ各款ニ屬セサル諸收入ヲ掲載スヘシ
 八 市町村税中地租其ノ他ノ各稅附加稅ニ就テハ説明附記欄ニ其ノ本稅額及課率ヲ掲載シ仍戶數割附加稅又ハ家戶稅附加稅ニ就テハ現在戶數及平均一戶當ノ金額ヲモ掲記スヘシ
 九 歳出
 イ 豫算説明ノ欄ニハ計算ノ基ヲ所チ明ナラシムルチ旨トシ種目ノ分別ニ就テハ特ニ注意スヘシ例ヘハ役所費(款)報酬(項)ノ説明ニ就テハ種目ハ「町(村)長報酬」「市參事報酬」「助役報酬」「區長報酬」「區長代理者報酬」「委員」(又ハ某)「報酬」ノ類トシ其ノ附記欄ニハ「町(村)長報酬」ニ就テハ一年何圓ノ類ヲ掲載スヘシ

給料(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ「市(町)(村)長給料」「市參與給料」「助役給料」「收入役給料」等ノ類トシ其ノ附記欄ニハ「助役給料」ニ就テハ年俸又ハ月俸何圓幾人ノ類ヲ掲載スヘシ

ハ 雜給(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ「費用辨償」「旅費」「手当」「給仕及使丁給」「備人料」「賞與」「退職料」「退職給與金」「死亡給與金」「遺族扶助料」ノ類トシ其ノ附記欄ニハ「費用辨償」ニ就テハ町(村)長何圓助役何圓ト掲記スヘシ

ニ 需用費(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ「備品費」「消耗品費」「印刷費」「通信運搬費」「賄費」「被服費」「借家料」「電燈費」「電話費」「雜費」ノ類トシ其ノ附記欄ニハ「備品費」ニ就テハ何器具新調費何圓何機械修繕費何圓書籍購買代何圓又「消耗品費」ニ就テハ筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓ノ類ヲ掲載スヘシ

十 市ニ於テ市會費ト市參事會費トヲ區分セントストキハ會議費ノ款ヲ市會費市參事會費ト分記シ各款ノ下ニ「費用辨償」「給料」「雜給」「需用費」等ノ項ヲ設クヘシ

十一 小町村ニ在リテハ各款ノ下給料ト雜給、需用費ト修繕費ヲ合セテ各一項ト爲スモ妨ケナシ

十二 小學校費ヲ學校毎ニ區分シタル場合ニ於テ各校共通ノ費用

アルトキハ別ニ一款ヲ設ケテ之ヲ掲載スヘシ

十三 小學校(又ハ某校)費、幼稚園(又ハ某幼稚園)費及圖書館(又ハ某圖書館)費ノ款ハ之ヲ合セテ教育費トシ其ノ項ハ之ヲ小學校(又ハ某校)費、幼稚園(又ハ某幼稚園)費及圖書館(又ハ某圖書館)費トシ給料、雜給、需用費等ハ之ヲ説明種目ト爲スコトヲ得

十四 諸稅及負擔(款)ハ諸稅(項)ト負擔(項)トニ分チ「諸稅」ノ説明種目ハ「地租」「地租割」「水利組合費」ノ類トシ其ノ附記欄ニハ市町村有土地等ニ對スル分ヲ掲載シ又「負擔」ノ説明種目ハ「府(縣)費負擔」「郡費負擔」「何町(村)外何箇村組合費負擔」ノ類トス

十五 雜支出ノ項ハ「滯納處分費」「繰替金」「過年度支出」ノ類其ノ他他ノ各款ニ屬セサル諸支出ヲ掲載スヘシ

十六 歳入歳出科目中其ノ項目ヲ數多ニ區分スルヲ便トスル場合ニハ本例ノ外適宜ニ項目ヲ設クルモ妨ケナシ

十七 繼續費當該年度支出額ヲ豫算ニ編入スル場合ハ歳出臨時部第十七款ニ掲グルカ如ク款ニ「土木費本年度支出額」項ニ「土木費ノ内道路費本年度支出額」ト掲記スヘシ

十八 市町村組合、町村組合ニ在リテハ分賦法ニ依ルモノハ歳入科目「市町村稅」ノ款ヲ「分賦額」トシ項ヲ「某市分賦額」「某町分賦額」又ハ「某村分賦額」ト掲載シ左ノ例ニ從フヘシ

款	項	豫算額	種	目
---	---	-----	---	---

一分賦額		四	
一 某市分賦額	一 地租附加稅	二 何	何
二 某町分賦額	一 地租附加稅	二 何	何
三 某村分賦額	一 地租附加稅	二 何	何

第二號

自大正何年度 某府某市 至同何年度 縣某町(村) 某費繼續年期及支出方法

某費中某費

大正何年度支出額 同何年度支出額

內譯 金 金

右云云 (議決ヲ要スヘキ事業ノ大要ヲ記載ス) 大正何年何月何日提出

某府某市 縣某町(村)長 氏

八三 名

附 錄

某縣某市郡某町(村) 繼續費某費收支計算表

科款	項目	何年度正入						種目	金額	附明記
		何年度	何年度	何年度	何年度	何年度	何年度			
一 補助金	一 國庫補助金							一 國庫補助金		
	二 府縣補助金							一 府縣補助金		
	三 郡補助金							一 郡補助金		
	二 寄附金							一 寄附金		
	三 町市(村)債							一 町市(村)債		
	四 町市(村)費繰入金							一 町市(村)費繰入金		
合計										

科款	項目	何年度正入						種目	金額	附明記
		何年度	何年度	何年度	何年度	何年度	何年度			
一 雜收入	一 雜收入							一 町市(村)費繰入金		
六 繰越金	一 前年度繰越金							一 前年度繰越金		
								二 預金利子		
								二 何		
合計										
一 某費	一 給料							一 何		
								二 何		
								何		
合計										

附
錄
畢

大正二年九月七日印刷

大正二年九月十日發行

東京市役所内記課

印刷者
石丸鶴吉

東京市京橋區鈴木町二番地

印刷所
東亞印刷株式會社

東京市京橋區鈴木町二番地

電話京橋
長二二四
二二五
振替口座東京一九一五四





